

第 I 章 デザインガイドの概要

1. ガイドの位置づけと内容	2
2. 対象範囲	3
3. ガイドの構成	4

住民、民間事業者、行政の3者が連携して創り出す熊本駅周辺地域の都市空間に関して、そのデザインのあり方を記したガイドの「位置づけ」や「内容」を示します。

ガイドの位置づけ

《都市空間デザインの必要性》

新幹線開業を契機として様々な事業が展開される熊本駅周辺地域では、熊本の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくりをおこなうため、都市空間デザインへの取り組みが重要であると考えています。

“都市空間”は、主に行政が整備・維持管理する道路・公園・河川等と、地権者や民間事業者等が建築する建築物等で構成されています。そのため、良好な都市空間を形成していくためには、**住民・民間事業者・行政が連携してまちづくりを進めていくことが重要**です。また本ガイドで扱う“デザイン”は、都市空間の表層の色彩・形態・材質だけを対象とするのではなく、**施設などの配置までも対象**とし、これにより、利用者にとって使いやすく、判りやすく、安全で、快適な都市空間が形成されます。

《ガイドの位置づけ》

本ガイドは、平成17年6月に公表された「熊本駅周辺地域整備基本計画」を受けて、熊本駅周辺地域の将来像を実現するため、**都市空間デザインの基本的な考え方と進め方**を示すものです。

また、本ガイドが地域の皆さんと魅力的なまちづくりを進めていく契機となり、機運が盛り上がる過程で、本ガイドに記された考え方が「**地域全体の約束事**」に成長することを期待します。

ガイドの内容

本ガイドは、将来像実現に向けて変わることのない共有すべき都市空間デザインの考え方と、それを達成するためのデザインの具体例の、2つに分けて示しています。

将来像実現のための都市空間デザインの考え方を示す デザインガイド「本編」

熊本駅周辺地域の整備は、完成までに長い年月を要します。その間、多くの人々がまちづくりに携わりますが、目標とする将来像の共有が薄れてしまうと、出来上がったときにまとまりの無いまちになってしまいます。このため、将来像実現に向けた都市空間デザインの考え方を、多くの方々と共有するために『デザインガイド本編』をまとめました。

デザインの具体例を示す デザインガイド「手引き編」

将来像を円滑に実現するには、具体例を共有し進めなければなりません。

そこで、デザインガイド「本編」に示した内容をより詳しく解説すると共に、デザイン展開が理解しやすい具体例として『デザインガイド手引き編』をまとめます。

この手引き編の内容は、将来像の実現を目指しつつ、その時々利用者ニーズの変化、技術革新の状況、県民・市民や熊本を訪れる多くの人々の要請などに応じて、適時見直しを行い、より良いデザインガイドとして更新していきます。

本ガイドの対象とする地域の位置と共に、公共空間と民有空間の領域を示します。

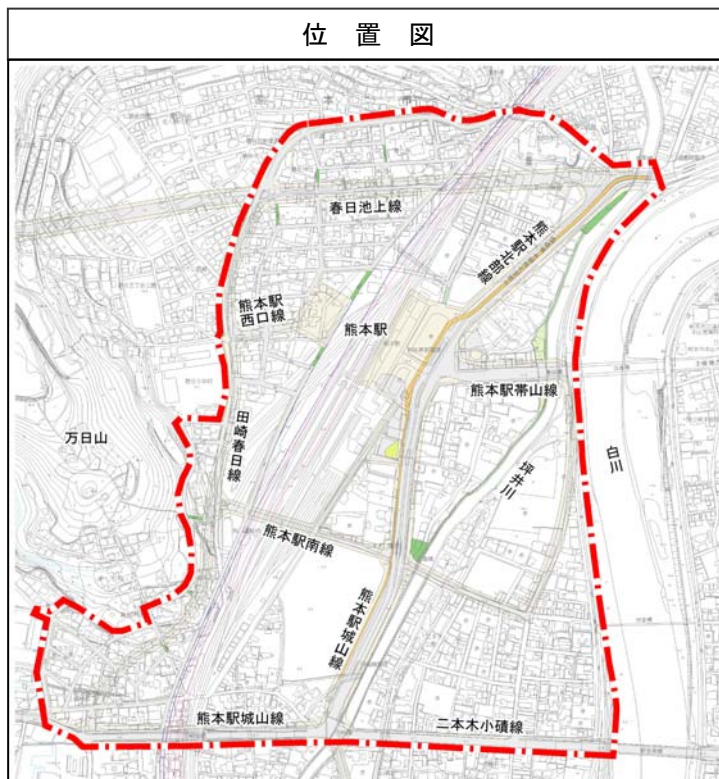
対象とする地域

本ガイドは、「熊本駅周辺地域整備基本計画（平成17年6月）」と同じく、

『熊本駅周辺地域：63ha』

を対象とします。

位置図

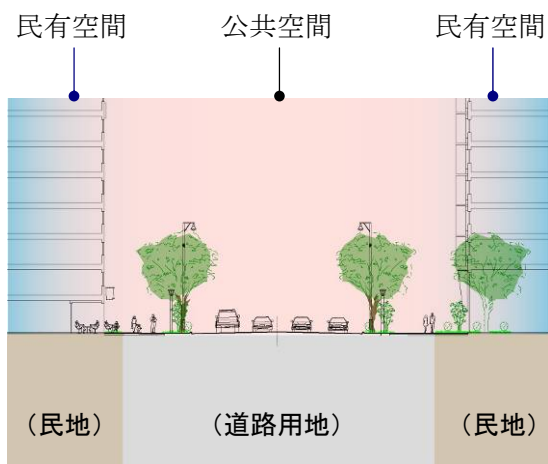


対象とする空間

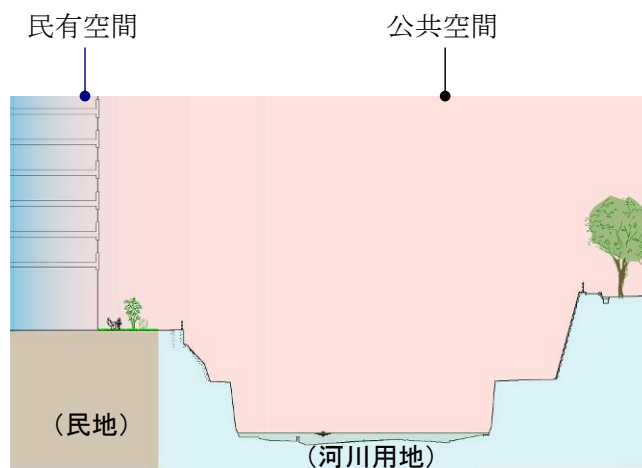
本ガイドでは、「公共空間」「民有空間」を以下のような区分とします。

- 公共空間 … 道路、公園、河川といった公共用地上の空間
- 民有空間 … 公共空間と一体となって街並みを形成する民地上の空間
(下図で赤色が青色に変わる部分)

〔道路の場合〕



〔河川の場合〕



「ガイド本編」と「手引き編」の構成を示します。また、具体的な設計資料をプロジェクト資料として蓄積し、情報の共有化によるデザイン方針の一貫性を確保します。

デザインガイド 本編	第Ⅰ章 デザインガイドの概要	デザインガイドの位置づけや内容、および構成を示しています。
	第Ⅱ章 都市空間デザインの基本方針 <ol style="list-style-type: none"> 1. 現状の特性 2. 関連諸計画のまとめ 3. 都市空間デザインのテーマ 4. 都市空間デザインの基本方針 5. 都市空間の基本構成と全体像 	「熊本駅周辺地域整備基本計画（平成17年6月）」に記された将来像を実現するための都市空間デザインの基本方針を示すとともに、この地域の空間構成を設定しています
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; margin-right: 5px;"> 第Ⅲ章 都市空間デザイン指針 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Ⅲ-1. 3つの景^{けい}のデザイン指針 <ol style="list-style-type: none"> 1. 出会^{であい}の景^{けい} 2. 木立^{こだち}の景^{けい} 3. 水辺^{みずべ}の景^{けい} </div> </div>	この地域の骨格となる空間について、デザインコンセプト・空間の考え方・空間のイメージを示しています。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Ⅲ-2. 生活空間のデザイン指針 <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活空間の将来イメージ 2. 基本的な考え方と空間イメージ </div>	上記以外の空間を生活空間として、空間デザインの考え方を示しています。
第Ⅳ章 デザイン調整の仕組み	デザイン調整の取組みと、その体制及び流れを示しています。	

デザインガイド 手引き編（別冊）※	I. 要素別デザイン手引き <ol style="list-style-type: none"> 1. 緑 2. 歩行環境 3. 夜間景観と施設 4. サイン 5. 街具 6. シェルター 他 	要素別にデザインの具体的展開例を示します。
	Ⅱ. 「景」別デザイン手引き <ol style="list-style-type: none"> 1. 出会^{であい}の景^{けい} 2. 木立^{こだち}の景^{けい} 3. 水辺^{みずべ}の景^{けい} 	本編で示された「3つの景」の具体的展開例を示します。
	Ⅲ. 民有空間デザイン事例 <ol style="list-style-type: none"> 1. にぎわいやうるおいを演出する〔低層部〕 2. 街並みを整える〔中・高層部〕 	民間の建物を整備する際に参考となる事例を紹介します。

個別プロジェクト資料

デザインガイドに基づいて整備された施設の資料を蓄積し情報を共有化します。

※デザインガイド手引き編に掲載を予定している項目及び内容は、今後の検討や本地域を取り巻く諸状況の変化により変わることもあります。